

# JAPCニュース

2017年 12月発行 第36号

特定非営利活動法人日本失語症協議会機関誌  
『言葉の海』 新聞版

編集人 特定非営利活動法人  
日本失語症協議会  
(旧全国失語症友の会連合会)  
〒167-0051  
東京都杉並区荻窪 5-14-5-405  
Tel 03-5335-9756 fax 03-5335-9757  
1冊 400円  
発行人 特定非営利活動法人  
障害者定期刊行物協会  
〒157-0072  
東京都世田谷区祖師谷 3-1-17  
Tel 03-6277-9611 fax 03-6277-9555  
印刷 パソコン工房ゆずりは

## 巻頭言

一般社団法人 東京都言語聴覚士会 会長  
西脇恵子

言葉の海の読者のみなさま、こんにちは。  
巻頭言を書いている本日まで、来年度から始まる失語症者向け意思疎通支援事業の養成講師の講習会が二日間にわたって開催されました。超大型台風の来る中、47都道府県の言語聴覚士会から一人ずつの参加があり、これから始まる大きな事業についての意見交換もされました。新しい年の始まりになりそうです。

私が言語聴覚士となってもう30年を過ぎますが、最初の勤務先の近くに住んでいらした協議会の前身である全国失語症友の会連合会の初代会長であった田村利男さんのお家に週に数回通って全国組織を作るお手伝いをしたことを懐かしく思います。その頃から、失語症の方が社会参加をするためにどんなことが必要なかを臨床や友の会のお手伝いをしながら考えていました。10数年前に言語聴覚士の仲間と始めた会話パートナー養成の事業も同じ根っこから生まれたものです。普段の暮らしの中でやっているごく普通の会話、これが私たち人間にはとっても大切なものなのだと思います。社会の中に、失語症の方とその「普通の会話」ができる人が増えることを目標にしてきました。

この会話パートナーの意義と必要性が厚生労働省に届き、支援者に報酬が付くところま

でこぎつけることができたのは、失語症の方やご家族、そして失語症協議会という団体の力が大きかったと思います。私の属する東京都言語聴覚士会では、来年度から東京都の事業として支援者の養成を始めます。ほかの道府県でも来年度、再来年度を目標に養成事業を開始することと思います。カリキュラムの中には、失語症の方と一緒に実習がかなりの数、設定されています。これには、友の会や失語症の方の集っていらっしゃる場所での協力が必要です。皆さんと一緒によりよい支援者を日本中に多く育ててまいりたいと思いますので、どうぞお力をお貸しください。世界に誇れる制度にしていきたいと思います！

### 《八島語録》

#### 「家族が失語症になったら手に取る本」

ある日突然、家族が脳卒中や事故などに遭ってしまった時に、命の重さを実感し、どんな障害が残っても生きていてほしいと心から願います。でも、その後の障害をもって生きる第2の人生は山あり谷あり、家族が一丸となって進んでいく事になります。それでこそ、家族の「絆」が力になります。失語症協議会はそのような時、手に取って今後の指針にさせていただきたい本を作成しました。

年単位で回復していく失語のある家族の社会参加が叶った時は、殊の外うれしいものです。

この本の制作費用は憐エスコアールさんからの平成29年度助成金です。執筆は福井県の中内先生とお仲間の先生です。本誌の裏面チラシからお申込みください。当会会員の周りの方々にもぜひご推薦ください。

## 友の会だより

### \* 北海道失語症友の会「北の会」

6月3日第30回定期総会  
6月北の会月例会：語想起ゲーム、かるた「タオル風船ゲーム」  
7月北の会月例会：二重課題による手と頭の体操・言葉のゲーム  
8月北の会月例会：回想法運動レクリエーション  
6月さわやか友の会例会：口の体操、体の柔軟体操  
7月さわやか友の会例会：バス旅行

### \* 青森県失語症友の会「ちょちゃべの会」

9月23～24日：ねぶたの館を巡る旅  
10月15日例会：料理教室

### \* 岩手県・気仙地区失語症友の会

#### 「はまりやすぺや」

4月22日定例会  
5月27日食事会  
6月24日定例会：ポッチャ大会・吹き矢大会  
7月22日定例会：臨床美術の及川先生にお越しいただき「宇宙を描こう」をテーマに作品を作りました。

### \* 新潟県・新潟友の会

9月16日：第4回カラオケ大会

### \* 福島県・会津失語症友の会

6月10～11日  
山形・福島地域間交流会  
7月1日  
会津失語症友の会総会・交流会：参加者40名



### \* 福井県失語症友の会

9月16日福井本部例会：参加者10名、開会、連絡事項、全国大会について発音発声練習、近況報告、  
9月16日嶺南支部例会：参加者9名、「福井県障がい者ハートフル文化祭」出展作品

### \* 石川県失語症友の会

9月9日～10日合同研修会：参加者24名  
和倉温泉

### \* 山梨県・東山地区失語症友の会

7月22日例会：参加者18名、カレー作り  
近況報告、記念撮影

9月16日例会：参加者16名、季節の歌「月」  
近況報告、「山」についての三択クイズ、歌「ことばをこえて」、記念撮影

### \* 千葉県・市川失語症友の会「げんき会」

6月19日例会：参加者42名  
開会の言葉、新しく来た方の紹介、皆でゆっくり話そう、口の体操、気功、ゲーム、合唱、閉会の言葉

7月24日例会：参加者42名  
開会の言葉、新しく来た方の紹介、皆でゆっくり話そう、口の体操、気功、ゲーム、合唱、閉会の言葉

8月27日例会：「納涼まつり」参加者60名  
開会の言葉、口の体操、柳扇会さんの踊り、パン食い競争、合唱、閉会の言葉

(会報休刊していましたが年3回の「げんき通信」として復活、よかったです)

### \* 神奈川県・相模原失語症友の会

8月19日中央の会：参加18名、歌、自己紹介、近況報告、ゲーム神経衰弱、休憩、歌

8月1日南の会：参加24名、歌、お口の体操、自己紹介、近況報告、音当てゲーム、お茶休憩、音楽療法、閉会の歌、連絡事項

9月16日中央の会：参加15名、歌、自己紹介、近況報告、ゲーム、休憩、歌

9月5日南の会：参加26名、歌、お口の体操自己紹介、近況報告、名前カードじゃんけんゲーム、お茶休憩、音楽療法、閉会の歌、連絡事項

### \* 神奈川県・藤沢言語友の会

8月20日定例会：参加者10名  
自己紹介、近況報告「私の暑さ対策」、楽しい音楽会、連絡事項

9月17日定例会：台風の影響で中止

10月15日定例会：参加者11名  
自己紹介、近況報告「私の防災備蓄について」、楽しい音楽会、書き取り・軽体操、言語訓練ゲーム、連絡事項

**\* 神奈川県・大和言語さくらの会**

7月1日定例会：参加者22名  
ラジオ体操、音楽療法、報告事項、  
7月15日定例会：参加者23名  
ラジオ体操、お口の体操、理学療法、連想ゲーム、仕事の種類、報告事項、  
8月5日定例会：参加者21名  
ラジオ体操、音楽的療法、会長の連絡、しりとりにゲーム  
9月2日定例会：参加者20名  
ラジオ体操、音楽的療法、連絡事項  
9月16日定例会：参加者23名  
ラジオ体操、お口の体操、言語聴覚士療法、会長の連絡

**\* 埼玉県・春日部失語症友の会**

9月9日例会：司会挨拶、発声練習、近況報告、休憩・お茶、ゲーム「都道府県ビンゴゲーム」、歌

**\* 埼玉県・さやま茶の花会**

9月21日例会：参加者15名  
復習しましょう・「秋のゆしみは?」、おもしろクイズ、

**\* 埼玉県・大宮失語症友の会**

7月15日例会：近況報告、「スイカの種飛ばし」競争  
9月6日「ブドウ狩り」

**\* 東京都・品川失語症友の会**

7月22日例会：体操、今月のテーマ「海」、暑中見舞いを書きましょう！  
8月26日例会：体操、今月のテーマ「自分の失敗談」、ゲーム「低カロリーを目指しましょう」、歌  
9月16日例会：体操、今月のテーマ「この夏の思い出」、リハビリタイム、歌

**\* 東京都・世田谷失語症友の会「花みずきの会」**

8月10日例会：唄のつどい、ST中島挨拶、連絡事項、会長挨拶、テーマ「夏の思い出」、ゲーム「○×クイズ」  
9月14日例会：唄のつどい、ST中島挨拶、連絡事項、会長挨拶、テーマ「ストレス解消法」、ゲーム「昭和3年の物価は?」

**\* 東京都・目黒失語症友の会「椎の木会」**

7月22日定例会：参加者18名「夏野菜を食べよう!」、歌  
8月26日定例会：参加者18名「夏本番!夏を元気に乗り切りましょう」、歌  
9月23日定例会：参加者19名「私の宝物!」、歌

**\* 東京都大田区失語症支援の会「ひまわり会」**

9月9日例会：クラブ活動(麻雀)、一言スピーチ「私の病歴」、ゲーム土居さんの遊びリレーション、体操、歌

**\* 東京都・新宿失語症友の会**

7月1日学習会：26名参加、事務局だより、書道・硬筆、お楽しみゲーム  
7月15日学習会：30名参加、事務局だより、書道・毛筆、グループ訓練、  
8月5日定例会：46名参加、事務局だより、グループ訓練、歌唱指導、写真撮影  
8月19日学習会：36名参加、事務局だより、書道・硬筆 塗り絵、グループ訓練、

**\* 東京都・杉並失語症友の会**

8月12日例会：参加者29名、事務局連絡、近況報告、リハビリ体操、  
9月9日例会：参加者25名、事務局連絡、近況報告、体操、手拍子、言葉遊び、風船回し、

**\* 東京都・北多摩失語症友の会「若竹」**

7月15日例会、8月5日例会、8月19日例会

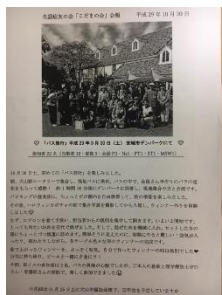
**\* 東京都・北多摩失語症友の会「あすなろ」**

7月9日例会：参加者11名  
会長挨拶、連絡事項、近況報告  
9月10日例会：参加者10名  
会長挨拶、連絡事項、近況報告

**\* 京都府失語症の会「ゆるり会」**

6月21~26日第27回ゆめひろば展(失語症者の作品展)  
7月25日メディケア・リハビリ地域講座  
9月ゆるり新聞発行  
ゆるり会：  
毎月第2火曜日





**\*愛知県・失語症友の会「こだま会」**

9月30日バス旅行  
参加者22名  
「安城市デンパーク」

**\*奈良県脳卒中友の会「桜の会」**

7月9日失語症合唱団練習 36名参加  
9月10日  
失語症合唱団練習 35名参加

**\*島根県だんだんトークの会**

5月21日第12回土で遊ぼう(陶芸教室)  
6月18日第8回筆で遊ぼう  
6月24日言語聴覚士学会・市民公開講座  
7月7日地域リハビリテーション推進交流会・総会(松江総合医療専門学校交流会)  
だんだん会:定例昼食会(毎月第1日曜日)  
:だんだんサロン。毎月第3水曜日、等々

**熊本県・たくま会**

8月18日例会:参加者29名  
会食、会長挨拶、山本ST挨拶、たくま会の歌、リラックス体操、口の体操、発声練習、ゲーム、言葉に活きる(歌)、閉会、  
9月18日例会:参加者27名  
会食、会長挨拶、山本ST挨拶、たくま会の歌、リラックス体操、口の体操、発声練習、ゲーム、言葉に活きる(歌)、閉会、  
10月27日30周年記念講演会・祝賀会  
記念講演会:会長・顧問挨拶、記念講演、記念撮影  
祝賀会:会長挨拶、乾杯、会員自己紹介、お楽しみショー、歌「言葉に活きる」、閉会



**\*沖縄県・ゆんたく会**

9月15日  
沖リハ福祉学院学生との交流会  
○台風接近が心配されるなか、爽やかな晴天に恵まれた9月15日(金)午後1時より沖リハ学院と館員・家族の交流会が開催されました。

沖縄タイムスさんが取材に訪れ、9月21日の新聞に掲載されました。

沖 縄 タ イ ム ス

2017年(平成29年)9月21日 木曜日

**ゆんたくでリハビリ**  
与那原 失語症者 学生と交流



クイズや会話を通じて交流を楽しんだ=15日、与那原町の沖縄リハビリテーション福祉学院

【与那原】県失語症友の会(ゆんたく会)のメンバー18人は15日、町板良敷の沖縄リハビリテーション福祉学院を訪れ、言語聴覚学科の1年生25人と発声練習やクイズを通じて交流を深めた。  
交流会は2015年から始

まり、今年で3回目。ゆんたく会の大城貴代子事務局長は「若い学生との出会いはうれししいし、学生にとっても勉強になる」とあいさつした。  
同学科の大濱貴之講師によると、失語症は脳卒中や交通事故などで脳に損傷を負うことで話しづらくなったり、文字を読んでも理解しにくくなったりする症状。脳梗塞になった人の10〜15%が発症するといわれ、30〜40代の患者も少なくないという。  
大濱講師は「1年生にとつては早い時期から患者と直接触れ合うことで、失語症の理解につながる」と述べた。  
言語聴覚士を目指している島袋優希さん(29)は「八重瀬町は「会員の皆さんがこの日を待ち望んでいたと言っておりました。交流できてうれしかったです」と話した。  
19年前に脳梗塞で倒れて以来、引きこもりがちだったという新垣盛雄さん(71)は「若い人と交流し、またリハビリを頑張ろうという気持ちになった」と笑顔を見せた。

## 事務局便り

- 9月 7日 失語症理解講座第2回会議  
(ST:上杉、坂井、津村、黒川)  
(事務局・進藤・藤原・志村・亀澤・園田・木村)
- 9月10日都士会社団法人化記念祝賀会  
(園田)
- 10月16日第5回ワックル(進藤・藤原・亀澤・園田)
- 10月21日・22日 意思疎通支援者養成者養成講座(山本 ST.園田)
- 10月26日国立リハビリテーションセンター  
高次脳機能障害支援者講習会
- 10月30日厚労省意思疎通支援者養成支援者講習会事後打ち合わせ会議
- 11月4日第32回全国大会イン盛岡  
(進藤・木村・志村・園田)
- 11月10日杉並区高次脳機能障害連絡会  
(園田)
- 11月15日ファーマインフォメーションセッション(園田)
- 11月20日  
・テクノエイドシーズニーズマッチング交流会企画委員会(園田)  
・製薬協患者団体セミナー(園田)
- 11月24日会話支援実践付失語症理解講座  
(ST:上杉、坂井、津村、黒川)  
(事務局・進藤・藤原・志村・亀澤・園田・木村)(支援 ST.患者講師)
- 11月26日杉並チャリティフェスタ  
(進藤・藤原・志村・亀澤・園田・ゆずりは)

- 12月2日品川失語症友の会出かけ隊イベント
- 12月19日・20日テクノエイド「シーズニーズマッチング交流会大阪会場」

### 訃報

11月14日当協議会評議員の笠井邦章さんが死去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

以前の会員の御家族の方から協議会あてにお手紙をいただきましたのでご紹介いたします。

### 失語症友の会 関係者さま

今般くなりました母は、父が脳出血で右半身麻痺と失語症の後遺症のもとで存命中(1990年発症、2005年死去)、遠藤尚志先生の引率による海外旅行団に二人で参加しておりました。

1994年のニューヨーク・ナイアガラと1996年のストックホルムは息子の私もよく覚えております。1対1の家庭内の介護は内に籠もり孤立しがちになると言われております。友の会のこうした活動で、同じ悩みを抱える他の方々と交流したり日本を離れて外国に出たことは、車いすの父だけでなく、むしろ1対1で介護する母にとって色々な意味で救いになったのではと思っております。

そうしたことへの感謝の意を表明させていただきたく、突然ではありますが母の訃報の報告を送付させていただきました。

失語症友の会の、今後さらなるご発展を期待しております。

A.D

学校法人敬心学園 臨床福祉専門学校附属

## 江東ことばの相談室

言語聴覚士による、ことばのリハビリを受けられます。  
失語症、高次脳機能障害、構音障害の方  
費用:1回 3000円(1時間) ※保険のお取り扱いはありません  
〒135-0043 東京都江東区塩浜2-22-10  
☎(03)5665-1241

地下鉄東西線 東陽町駅 徒歩10分  
都営バス 錦13 深川八中前 徒歩2分

連載・言語聴覚士の四方山話



みなさん、いい天気の日には外へお散歩に出かけていますか？なるべく無理のない時間と距離で、続けられるといいですね。今まで散歩好きな方々とお付き合いをしてきて、気をつけること、工夫したらいいこと、などまとめてみました。参考にしてください。

・出かける前には、手のグーパー、足首の曲げ伸ばしなど準備体操をしてから出かける。

・コースの途中に、必ず座って休める場所を2カ所以上見つけ、深呼吸する。休憩スペースのあるコンビニやスーパーには寄って、トイレを借りたり、チラシなど見たりしよう。

・リュックを背負って歩こう(両手を自由に)。水分補給用ボトルと身分証明書のコピー(万が一に備えて)を入れよう。

散歩は歩くという運動が重要なのは当然ですが、それ以上に周りの景色を、立ち止まって/座って見て考える、などの歩く以外の活動に興味があると思います。ただ黙々と歩く運動だけが大事なら、廊下の往復やプールの水中歩行や施設での自転車こぎ(エルゴメーター)などの方が効果的かもしれません。

散歩の良い点は、①風を感じ深呼吸する ②道端の花や木々の色に気づく ③途中で休んで、頭の上の空を見る(天気予報を思い出すのも良い) ④看板の字を読んでみる ⑤店でチラシにある写真の名前や値段を声に出して読んでみる ↓ 実物を探しに行き、手に取ってみる ⑦店の人に「こんにちは」、買い物で「ありがとう」と挨拶する。

外出先で行える余計な活動を楽しめるかが、体力の次、気力を養うカギです。車いすでの外出も、外出先や休憩所で、何かおまけの活動を見つけてください。  
(行つてらっしゃいむ)

脳トレミニ 秋と冬

散歩先で、買い物を楽しみましょう。ゆっくり旬のものなど、手に取って見ながら歩けるといいですね。

次の文字列を、一文字ずつ飛ばして読むと、あとのウインドウに見える食料品が出てきます。絵のヒントを参考に、考えてみましょう。漢字でも書いてみましょうね。

(例) ぎ ゆ ろ う く に ゆ そ う ↓ ぎ ゆ ● う ● に ゆ ● う || 牛乳

① さきとむう

② こすんでぶ

③ だのし

④ コピンツツキメ

⑤ しろお

⑥ こほむくぎらい

⑦ マツヨタネリーボズ



漢字で書ける物の名前は、絵の中にもありますね。次の漢字を組み合わせてみると…  
糖、塩、麦、布  
粉、昆、砂、小、

脳トレ秋～冬

次の絵を見て、下の文章の内容の「どこが間違っているか」を考えましょう。



グループで考えるときは、  
次のようにやってみましょう。

- ① みんなで絵だけを見る
- ② ちょっと時間をおく…
- ③ 1人目が問題文を読む
- ④ 2人目が問題文を読む
- ⑤ 違う場所を話し合しましょう
- ⑥ 正しい言葉が何か話しましょう  
(できる人が正しい言葉を書いて  
みんなに見せる)
- ⑦ 3人目が文を正しく直して言う
- ⑧ 正しい文をみんなで復唱する＝  
声を合わせ正しい文を読む

さあ、うまくできるかな？

- ① ここは 魚屋です。
- ② 女の子は 大きなカバンを 持っています。
- ③ 女の子は バナナとクッキーを 買っています。
- ④ レジの 男の人が お金を 受け取っています。
- ⑤ 女の子が 払っている 代金は 1000円です。
- ⑥ 学校の 友達と 買い物に 来たようです。

次は自由に話し合しましょう。

- ⑦ 女の子は 残ったおつりで ( ) が買いたいな、と思った  
たかもしれません。 ↑

おつりがどのくらいか話し合い、買えそうなものは何でしょう

# 特定非営利活動法人日本失語症協議会第32回全国大会イン盛岡・終了報告

平成29年11月4日（土）盛況のうちに第32回全国大会が終了しました。詳細の報告は実行委員会のほうから報告書があります。

今回紙面には30年度から始まる意思疎通支援者の養成派遣の報告を簡単に掲載します。又、参加者の感想を東京・江戸川けやきの会の藤村さんから頂きましたのでご紹介いたします。

## 平成25年4月1日 障害者総合支援法の施行

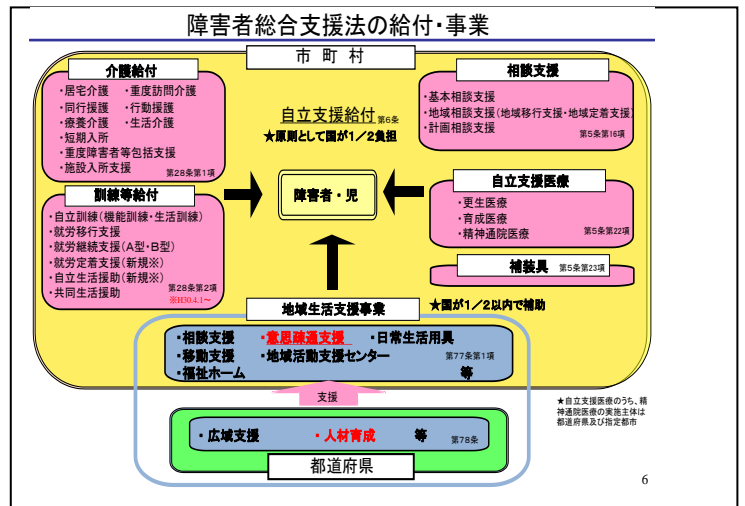
■都道府県が実施する地域生活支援事業の必須事業として、以下の事業を追加。

- 意思疎通支援を行う者のうち、特に専門性の高い者を養成し、又は派遣する事業
- 意思疎通支援を行う者の派遣に係る市町村相互間の連絡調整等広域的な対応が必要な事業

■市町村が実施する地域生活支援事業の必須事業として、以下の事業を追加。

- 意思疎通支援を行う者の養成

[その他、手話及び要約筆記を行う者の派遣も実施]



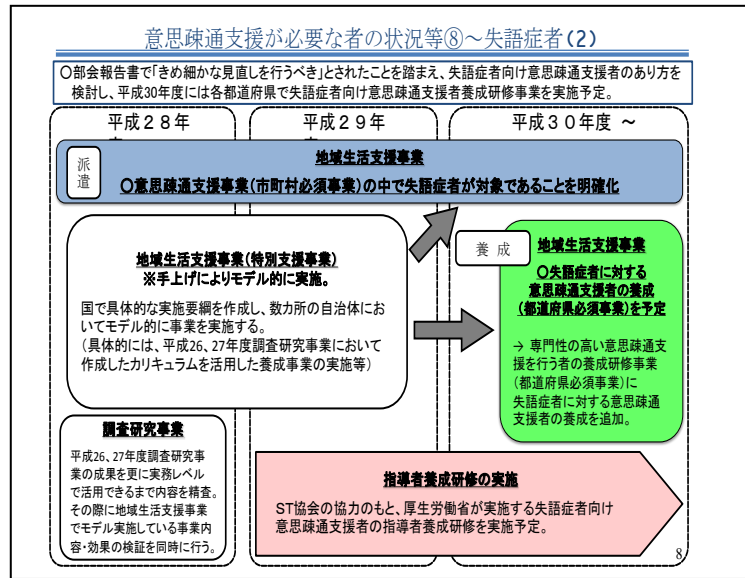
## 障害者総合支援法施行後 3年を目途とした見直し②

■社会保障審議会障害者部会 報告書（H27.12.14）【抜粋】

○手話通訳等を行う者の派遣その他の聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のための意思疎通を図ることに支障がある障害者等に対する支援の在り方について

【今後の取組】  
(基本的な考え方)

- 意思疎通支援については、基本的に現行の支援の枠組みを継続しつつ、盲ろう、失語症など障害種別ごとの特性やニーズに配慮したきめ細かな見直しを行うべきである。
- (地域生活支援事業等の活用)
- 地域生活支援事業等について、失語症、知的障害、発達障害、高次脳機能障害、難病、重度の身体障害のある者が、意思疎通支援者の養成・派遣に関する事業の対象であることを明確化すべきである。また、情報通信技術の活用等を通じた効果的、効率的な支援の提供を工夫すべきである。



### 【失語症全国大会 in 岩手に参加して】

長野大会から5回目の参加です。毎回の各地の実行委員の皆様のごさまたまの取り組みに感動し、楽しみです。盛岡は、実家もあったと言うことで、1日目は墓参りもいたしました。そして、今は「盛岡城址」となっている公園に行ってみました。2日目大会参加、3日目宮沢賢治ゆかりの地、花巻へバスツアー。2泊3日の旅となりました。大会は10時から16時までスケジュールがぎっしり。盛岡の皆さんの舞台「水戸黄門」やSTさんによる体操、空手の実演など和やかな時間もありましたが、難しいお話も多かったのですが、隣の主人は、かなり熱心に聞いている様子でした。夜の懇親会は、会場いっぱいの人ひとひと。ここでやっと失語デイの方達との共催の大会だということに気づいたのです。茨城から20回ほど参加している方と同じテーブルになり、話がはずみました。「次は大分で、」と言うお話に「無理」と言う様子だった主人でしたが、最後の頃、テーブルに挨拶に来てくださった方々が大分の方として大笑い。「考えなくては」と思ったようです。

3日目、バスツアー。図書館で「注文の多い料理店」のマルチメディアデジ図書を見たばかりというタイミングでした。宮沢賢治ゆかりの3カ所の移動では、花巻は紅葉の季節で、とてもきれいでした。まだまだ右マヒ、失語症の主人にとっては、どこもバリアがいっぱいです。それでも全国からこの日の為に集まっている沢山の方にお会いでき、その力に感動し、「行ってよかった!」という感想でした。

(東京・江戸川けやきの会 藤村)

## 第9回失語症カフェ「ワックル」のご案内

【日時】 平成30年2月18日(日) 午後1時30分～午後3時30分

【場所】 「言語生活サポートセンター」訓練室  
住所：東京都杉並区荻窪 5-16-14 カパラビル 1階  
最寄駅：JR、東京メトロ丸の内線荻窪駅西口  
電話番号：03-6915-1877

【対象】 失語症のある方、ご家族の方、失語症に関心のある方  
30名(電話でお申し込みください) 会場は1階なので車いすでもOKです。

【参加料】 500円

【連絡先】 NPO法人 日本失語症協議会 担当 藤原・進藤・園田  
電話番号：03-5335-9756 (申し込みは、この電話へお願いします。)

### New 構文教材 基本文編

著：藤田郁代 絵カード(87サイズ)208枚/保管用ケース付 音声ペン対応

7,560円

失語症がある方向けの、構文指導・訓練教材!



この教材は文処理の複雑度が異なる「非可逆文」「可逆文」「自動詞・他動詞の対応」「接続文」208個の文をイラスト化していますので、文を段階的に取り上げるうえで役立ちます。小児・成人どちらの方にも、お使いいただけます。

イラスト面▼



文章面▼

お母さんが笑っている

音声ペンでカードのイラスト面をタッチすると、文章面に書かれている文の音声再生されます。

### 失語症の方のための 言語訓練帳

著：山本弘子 編：NPO法人日本失語症協議会 A4判 32頁 864円

失語症になられた方が「書くこと」「読むこと」を毎日続けることによって、表現する力を取り戻すための本です。

日本脳卒中協会「サノフィ賞」受賞者、  
TVナレーター・言語ボイストレーナーの沼尾ひろ子が作成!

### New 音でわかってすぐに使える 失語症ことばの手帳

著：沼尾ひろ子 A5判(バインダー綴じ)86頁/インデックスシール付 音声ペン対応

手帳+音声ペンセット 12,096円 手帳のみ 3,024円



音声ペンでタッチするだけ! 言語訓練もコミュニケーションも!

日常生活でよく使うさまざまなフレーズや、災害・事故・病気の時にお使いいただけるフレーズを厳選しています。いつでもどこでもトレーニングができ、いざというときには音声ペンがあなたの代わりに言葉を伝えます。

### よくわかる失語症ことばの攻略本

著：沼尾ひろ子

音読編 音声ペン対応 B5判 92頁 1,404円

ことば体操編 B5判 98頁 1,620円

音声ペン (ActVoicePen)

アクトボイスペン 自作用シール100枚 ACアダプター付 9,720円



株式会社 エスコアール

http://escor.co.jp 〒292-0825 千葉県木更津市畑沢2-36-3

TEL 0438-30-3090 FAX 0438-30-3091

●上記の商品はホームページから送料無料でお求めいただけます。 ●価格は消費税込です。

## 杉並区失語症理解入門講座に参加して

青梅三慶病院  
言語聴覚士 木村茂



平成 29 年 11 月 24 日(金)午後、杉並区 NPO 支援基金助成事業の助成を受け、NPO 法人日本失語症協議会主催『会話支援実践付き 失語症理解入門講座』が、阿佐ヶ谷地域区民センターにて開催されました。会場には、ケアマネージャーを中心に様々な立場の 82 名の参加者(受講者 47 名・当事者講師 10 名・ST13 名・家族 6 名・スタッフ 6 名)が、一堂に会しました。第 1 部では、①失語症の基礎知識(臨床福祉専門学校・黒川 ST)、②意思疎通支援事業とその範疇の要点筆記解説(筆者)、③具体的症状解説(言語生活サポートセンター・坂井 ST)、④コミュニケーション方法解説(中野共立病院・津村 ST)について座学形式での講義が行われ、失語症とその支援法の基礎知識をご理解いただきました。第 2 部では、介護老人保健施設ピースプラザ、河北総合病院・上杉 ST の統括の下、失語症のある方と受講者で実際に会話を行い、失語症のある方とのコミュニケーション方法の理解を深めていただきました。用意されたテーマ以外に話題が広がったグループも多く、会場は熱気と笑いに溢れました。アンケートからも「また参加したい」との回答が多数ありました。

本講座は、地域の失語症のある方と ST の皆様のご協力なくしては、開催できませんでした。そして、運営を取り纏めてくださったのは、当事者の家族でもある事務局スタッフの方々でした。主催者に代わりまして、関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

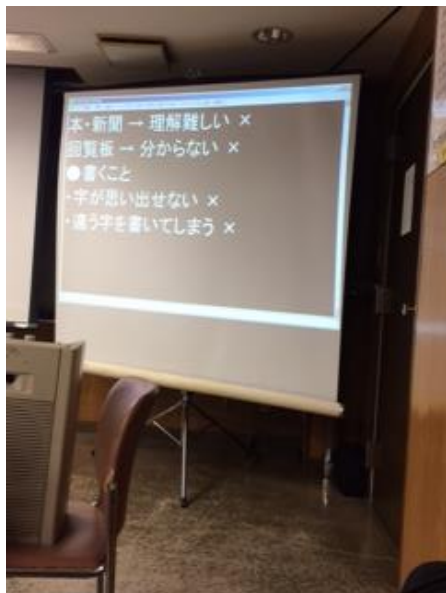
さて、ここで“意思疎通支援”について触れさせていただきます。意思疎通支援とは、コミュニケーションにおける障壁の除去(軽減)を実現する支援法です。従来の意思疎通支援では、聴覚障害者向けの手話通訳者などがありましたが、障害者基本法(H23 改正)・障害者総合支援法(H25 年施行)で、その対象に失語症も含まれるようになりました。これまで、失語症のある方へ向けたコミュニケーション支援としては、会話パートナーが民間で養成され、失語症友の会を中心としたボランティア活動が行われてきました。これに対し、意思疎通支援者は、公的制度的下でコミュニケーション支援を行うことを前提にしている点が異なっています。

H28 年度、都道府県の地域生活支援事業の“専門性の高い意思疎通を行う者の養成事業”に、“失語症のある方に対する意思疎通支援者の養成”が追加され、H30 年度より、いよいよ都道府県で意思疎通支援者の養成が開始されます。これは大いに歓迎すべき事である一方、課題も山積しています。具体的には、①予想される地域格差、②派遣制度の運用が不明確なこと、③市区町村に展開される時期が未確定なことなどです。H30 年度から養成されるのは、専門性の高い意思疎通を行う支援者です。失語症のある方が、身近な生活の中で意思疎通支援を受けられるには、この事業が市区町村にまで展開され、派遣制度が運用される必要があります。

H28 年度、都道府県の地域生活支援事業の“専門性の高い意思疎通を行う者の養成事業”に、“失語症のある方に対する意思疎通支援者の養成”が追加され、H30 年度より、いよいよ都道府県で意思疎通支援者の養成が開始されます。これは大いに歓迎すべき事である一方、課題も山積しています。具体的には、①予想される地域格差、②派遣制度の運用が不明確なこと、③市区町村に展開される時期が未確定なことなどです。H30 年度から養成されるのは、専門性の高い意思疎通を行う支援者です。失語症のある方が、身近な生活の中で意思疎通支援を受けられるには、この事業が市区町村にまで展開され、派遣制度が運用される必要があります。



それには、失語症のある方自身が、組織的に行政にその必要性を訴えていくことが必要です。それと同時に、STが地域に意思疎通支援者を養成できる力が存在することを示し、需要と供給がマッチングされることも重要です。その点で、本講座は「杉並に意思疎通支援事業が展開する可能性を示した」と言えるのではないでし



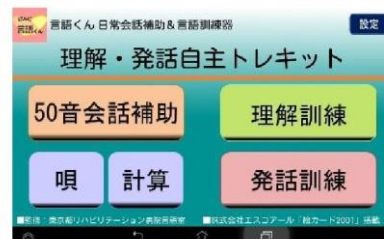
ょうか。

地域リハビリテーションは、当事者の訴えだけでも、支援者の考えの押し付けだけでも、実現し得ません。「失語症のある方自身がケアの必要性を訴えること」はその第一歩ですが、失語症のある方には訴えること自体が難しいという問題があります。それには、家族と支援者(会話パートナー・意思疎通支援者・ST等)によるバックアップ体制が整い、失語症のある方々が主体となって「失語症の正しい理解と必要なケア」を社会へ向け発信していくことが肝要でしょう。失語症のある方とそのご家族が自分らしく生活できる社会が訪れるよう、それぞれの立場で役割を果たし、共に頑張っていきましょう。全国各地に活動の輪が広まっていきますように！

## 日常会話補助装置&言語訓練器

# 「言語くん」理解・発話自主トレキット

監修：東京都リハビリテーション病院言語室



## ST訓練を終了した在宅の失語症者が使える言語訓練器

### 《理解・発話自主トレキット》

- ◆(株)エスコアールの絵カード2001より、単語1,500語、短文460文を搭載。
- ◆軽度の患者様までお使い頂ける会話補助装置&言語訓練器が登場！！
- ◆機能：50音会話補助・理解訓練・発話訓練・唄機能・計算機能



身体障害者手帳をお持ちの方は、定価114,480円が、各市町村の給付により「1～2割程度のご負担」で、ご購入頂けます。

※各市町村や納税額によっても自己負担額が異なりますので、お住まいの障害福祉課へご確認ください。  
《・・・まずは、10日間の無料お試しから・・・》 ★「言語くん」自立編Ⅲもお貸出し実施中★

株式会社 シマダ製作所 〒379-0204 群馬県富岡市妙義町行沢 264-1 ☎ : 0120-73-8133

皆様のご厚情に心から感謝申し上げます。

平成29年11月までの御寄付を頂戴した方(順不同・敬称略)  
事務所の諸経費につかわせていただきます。

石崎さとみ 亀野弘紀 三浦春樹 進藤美也子 一般社団法人 山形県言語聴覚士会

ゆうちょ寄付者お名前です。

(主に毎月の事務所家賃の支払い資金にさせていただきます。)

(順不同・敬称略) お名前記載のない場合は事務所まで御連絡をお願いいたします。

.....

- |           |       |       |       |       |       |       |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 赤嶺愛子      | 足立博子  | 阿部晃   | 生島文子  | 伊崎祥造  | 石川守   | 市川正美  |
| 伊藤世紀      | 伊藤聖子  | 伊藤怜子  | 岩寄克己  | 岩島満夫  | 出澤登美子 | 内山幸子  |
| 梅津今日子     | 海老沢敬  | 小川弥生  | 大城貴代子 | 大塚善一  | 大前美由紀 | 大西康史  |
| 大西知子      | 岡田理砂子 | 表聖司   | 大類和之  | 小原純一  | 片岡博道  | 河島進   |
| 川口安弘      | 川崎靖   | 神田知佳  | 神田裕   | 木村高子  | 黒木邦俊  | 児島その  |
| 後藤悦子      | 小柳信善  | 斎藤敏文  | 坂田雄治  | 佐々木正博 | 笹沼澄子  | 佐藤聡子  |
| 佐藤誠一      | 篠崎露子  | 柴田すが子 | 志摩進   | 清水江美子 | 志村孝子  | 志村哲   |
| 城野明子      | 進藤雄二  | 進藤美也子 | 杉尾恭子  | 鈴木弘二  | 須田悦子  | 関原敏子  |
| 園田暎良      | 園田尚美  | 高倉幸次郎 | 高倉正子  | 高橋英子  | 武村敦士  | 田中加代子 |
| 田中達男      | 田中英明  | 田中昌明  | 田中真寿美 | 田村和之  | 手塚京子  | 戸村純子  |
| 中村光       | 中川智之  | 長屋洋子  | 南部恒夫  | 沼崎知江子 | 萩原博美  | 橋本一夫  |
| 橋本秀久      | 橋本ゆき  | 橋本幸枝  | 濱本玉枝  | 早川晴美  | 林静子   | 林百合子  |
| 原宏一       | 原泰子   | 比嘉なな子 | 平澤哲哉  | 古山久子  | 星野トヨコ |       |
| 北海道失語症友の会 |       | 堀田憲次  | 堀間力夫  | 増尾禎子  | 松本祐治  | 丸井美恵子 |
| 間々田佳代子    | 美濃謙二  | 宮越くに  | 村野浩   | 水上千鶴  | 水上盛一  | 村松理恵子 |
| 森永京子      | 森山満敏  | 八島三男  | 山口 礼子 | 山本剛正  | 山本弘子  | 横田清   |
| 横田聖子      | 横森美知子 | 横山眞太郎 | 吉岡昭   | 吉田玲子  | 吉村正夫  | 綿森淑子  |
| 渡瀬とし子     |       |       |       |       |       |       |
- (合計119名)

言語聴覚士会の法人賛助会員  
第1号!!!!!!!  
ありがとうございます。  
言語聴覚士の方々と手を携えて  
進めることは、失語症者の  
願いです。

一般社団法人「山形県言語聴覚士会」が  
法人賛助会員になってくださいました。  
  
全国の県士会の皆さん！法人賛助会員になってくだ  
さい。  
言語聴覚士の皆さん！賛助会員になってください。  
よろしくをお願いします。



## 杉並区議会第4回定例会で一般質問

### 失語症の正しい理解と区の支援を求める

杉並区議会議員 けしば誠一

（無所属区民派 いのち・平和クラブ）

#### ◆失語症に対する正しい理解が前提

区内の失語症者のご家族・失語症友の会に出会い、失語症者の困難と社会参加できない現状を学び、これに対する国の対策がない現状で、自治体から可能な支援ができないか、11月議会で質問しました。

脳卒中や交通事故などにあつて、一命はとり留めたものの障害の残ることがあります。身体にマヒがある場合は外見で判断できますが、マヒがなく判断力や記憶力なども確かなのに、ことばのやりとりがうまくいかない失語症は外見からは分かりにくいものです。

まず初めに、失語症に対する区の認識、発症の主な原因と症状、失語症固有の特徴について質問し、失語症と間違えられる症状との比較で詳しい答弁を得ました。失語症に関するリハビリテーション機関が極端に少ない現状と、これに対する支援体制の不十分性、区内民間事業者による、回復期退院後の通所リハビリの現状について確認しました。

#### ◆国の対策の遅れと区の実現の現状

対策が遅れていた国がようやく動き出しました。意思疎通に関する福祉的支援は、これまで聴覚障害を中心に取り組まれてきました。2018年度からは失語症者向け意思疎通支援者養成事業が全国で開始されました。区としての取り組み予定がないことがわかり残念でした。先行している世田谷区などの取組について確認し、区の今後支援を求めました。

また、失語症に対する区の実現について質問。自ら言葉を発することができないため、体調をくずしたとき公共施設で表現できないこと、交通機関などでアナウンスが理解できないで事故を起こす例を挙げました。区の窓口での対応ができれば、それだけでも社会参加の支えになります。実施した区の職員向け研修の実績を確認し、区の窓口業務委託事業者の職員向け研修も併せて確認できました。既存のコミュニケーション支援機器を日常所生活用具として、失語症者にも支給することを求めました。

#### ★区内の失語症支援事業に区の支援を求める

自分の家族が突然失語症になると、どう対応したらいいのか分からなくて家族は混乱します。本人も、家族とうまくコミュニケーションがとれないとなると、いらだったり落ち込んだりし、引きこもりになることが多いとお聞きしました。失語症者のご家族がその厳しい経験から、失語症者の社会参加を支え、当事者と家族が生きがいを持てるように、機能訓練やデイサービス、地域との交わりを深める事業を区内で先進的に進めてきました。介護保険制度の制約や国の障がい者福祉施策の限界から、困難を抱えながら多くの方に支えられ継続しています。区の可能な限りの支援と対策を求めました。また、学校教育の中で障がい者理解教育が行われていることを確認し、出前授業などで生徒が失語症者と触れ合う機会は、障害のある人ない人を結びつけ、地域共生社会を創り上げる事業として効果的であるとする教育委員会の見解を得ました。これを第1歩に、杉並で失語症者が生きがいを持てるような支援体制を実現したいと願うものです。

議会での一般質問で、長時間失語症に関する質問をしてくださいました。  
ありがとうございました。  
質問内容をまとめて報告してくださいました。

～今号15ページに目次～

- 1p： 巻頭言+八島語録
- 2-4p： 友の会だより
- 5p： 事務局だより
- 6-7p： 言語聴覚士のよもやま話・脳トレ
- 8p： 全国大会報告
- 9p： 「ワックル」案内  
 広告：株式会社エスコアール
- 10-11p：「杉並区失語症理解入門講座」報告  
 広告：株式会社シマダ製作所
- 12p： 寄付者名簿
- 13p： 広告：NPO 法人ゆずりは
- 14p： 杉並区議会議員けしば誠一さん報告
- 15p： 目次・編集後記  
 広告：株式会社アドバンプレス
- 16p： 本の紹介・申込書

**【編集後記】**

□初めて夫と一緒に全国大会に参加しました。夫は、知り合いが全国あちこちに広がっていくことがうれしいようです。旅行の好きな夫ですが「仲間に会う」ということも目的に加わりました。私も、お手紙やこの紙面だけの方々の顔を実際に拝見でき各地の友の会の活動のお話を聞くことができました。

□今月号では「意思疎通支援事業」をいろいろな角度からお知らせいたしました。失語症当事者と家族にとって生きた制度として生まれるよう注目して行きたいと思えます。

□今年も色々のご協力ご支援ありがとうございました。みんなで手を携えて来年もゆっくりと進んでいきましょう。どうぞよいお年をお迎えください。

**事務局年末年始のお休み  
12/23(祝)～2018.1/10(水)**

iOS & Android 版タブレット用アプリ この製品は(公財)東京都中小企業振興公社 ニューマーケット開拓支援事業の支援対象製品です



失語症の喚語困難をサポート、  
意思伝達支援ノートがタブレット用アプリになりました!

20カテゴリ、154グループ、アイコンを3,400種以上ご用意

必要なものを写真で追加したり、不要なアイコンは非表示にしたり、自分だけの単語帳として使いやすいようにカスタマイズして下さい。



iOS版 価格: 9,800円(税込)  
Android版 価格: 9,720円(税込)



株式会社アドバンプレス 生活支援機器事業部  
 東京都千代田区神田神保町3-2-5 九段ロイヤルビル5F  
 tel.03-5211-7080(代表) fax.03-5211-7088  
 製品URL <https://shitsugo.support>  
 E-mail [gonbee@shitsugo.support](mailto:gonbee@shitsugo.support)



撮影した写真がアイコンに

人物やお店、ペットやよく使う物など、写真に撮ってどんどん追加できます。

